

2010年3月期 決算説明資料

1 連結業績について

1) 連結業績概要(前年同期比)	…P. 2
2) 売上高の変動要因	…P. 3
3) 営業利益の変動要因	…P. 4
4) 市場別売上高	…P. 5
5) 四半期毎の売上高	…P. 12
6) 地域別売上高	…P. 13
7) 設備投資他	…P. 14
8) 損益計算書	…P. 15
9) 四半期毎の営業利益	…P. 16

2 2011中期経営計画 進捗状況

1) ビジネス戦略	…P. 17
2) 体質強化戦略	…P. 21
3) グループ体制強化戦略	…P. 22

3 2010年度 事業計画

1) 海外市場	…P. 23
2) 国内市場	…P. 25

4 2011年3月期 業績予想

1) 2011年3月期 業績予想	…P. 29
2) 市場別売上高	…P. 30
3) 四半期毎の売上高	…P. 31

5 その他の情報

1) 配当について	…P. 32
2) 自己株式の消却について	…P. 33



当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しの変動するなどのリスクや不確実性を含んでおります。従いまして、投資判断を決定する場合には、本資料の将来の見通しのみには依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げます。また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。

連結業績概要 前年同期比

売上高

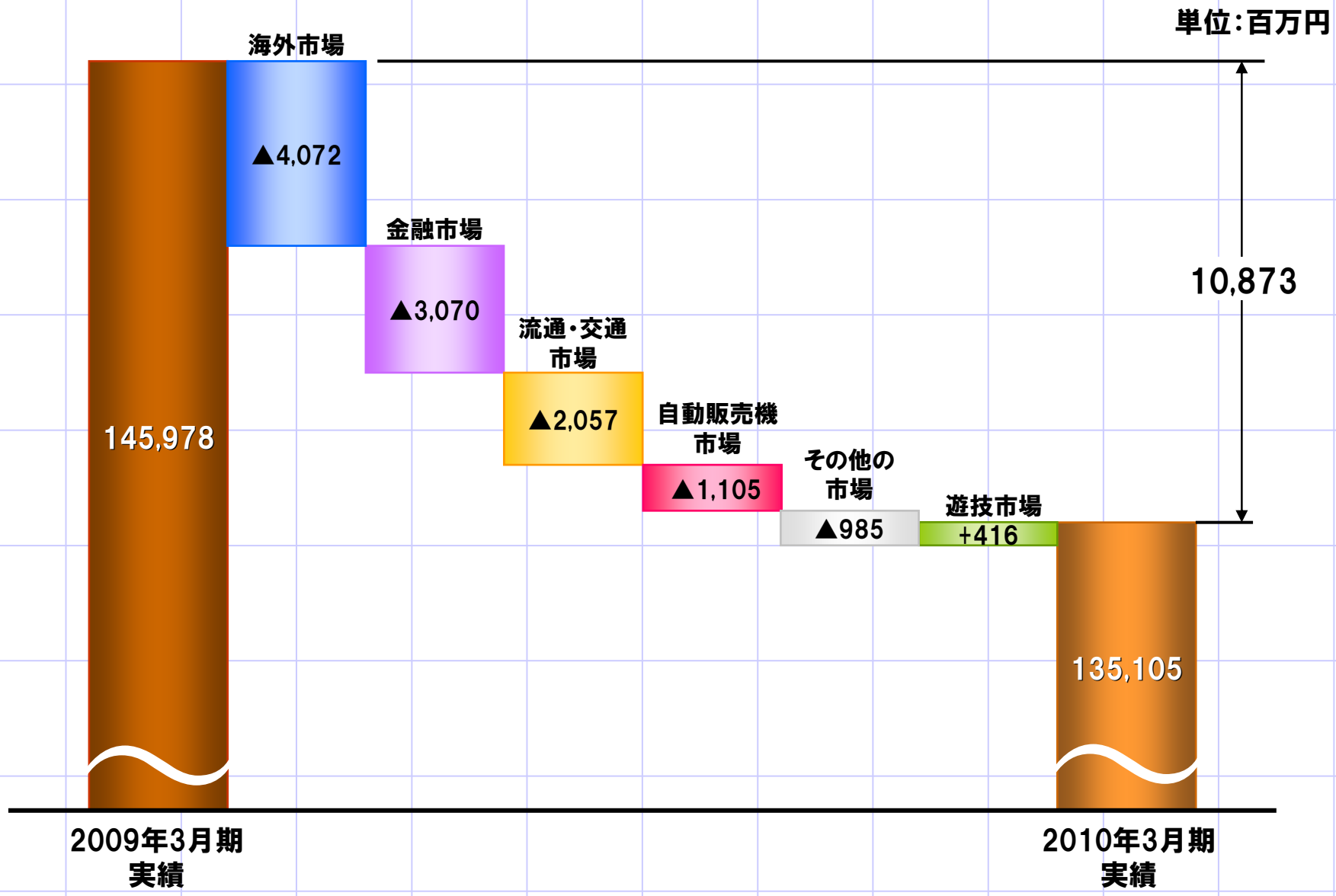
遊技市場は堅調であったものの、国内の金融市場及び流通市場、海外市場とも販売が低調で、前期に比べ減少。

利益

効率化・合理化に向けた諸施策を実施したものの、売上高減少の影響を受け、前期に比べ減少。

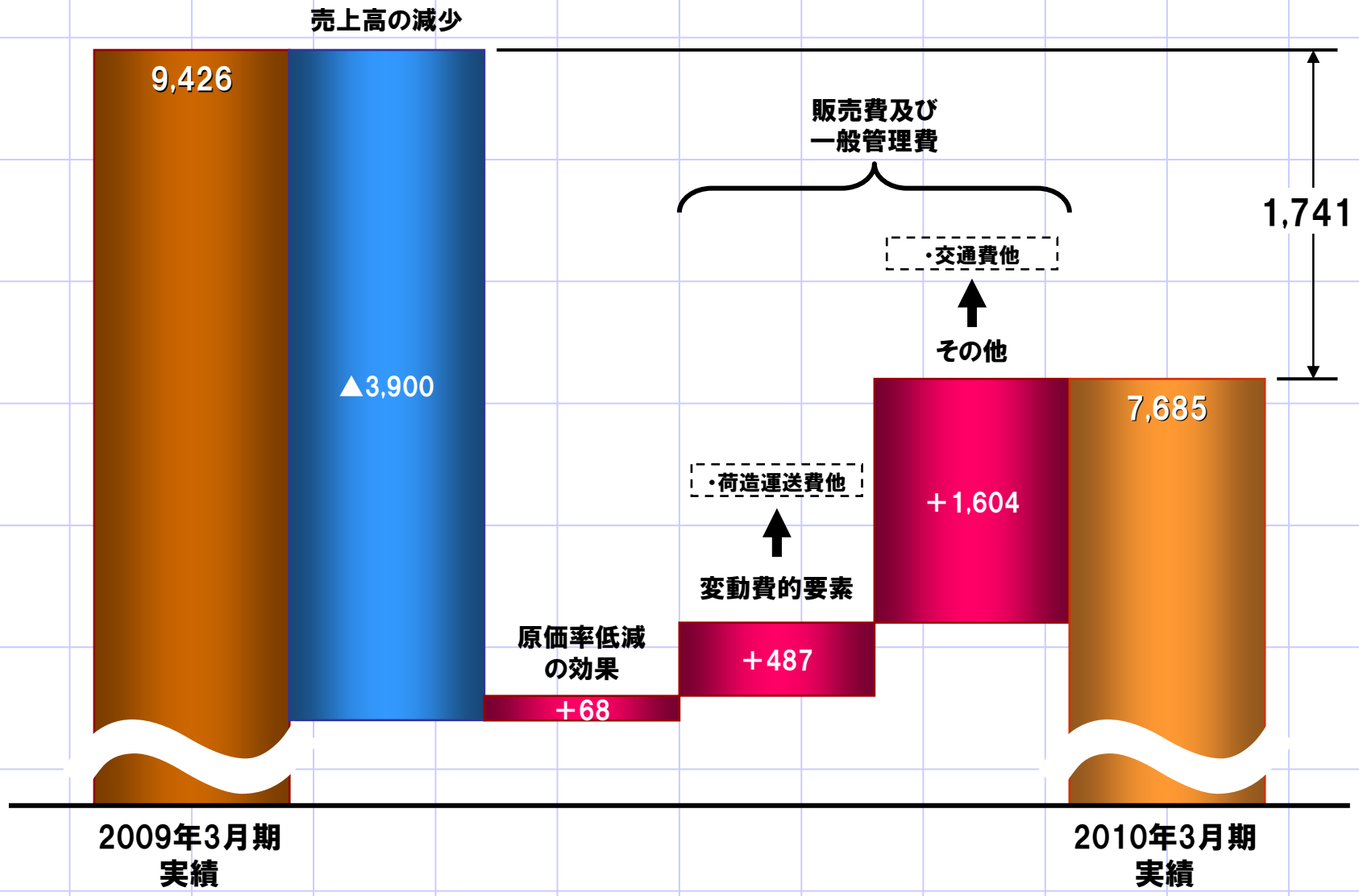
(百万円)	2009年3月期	2010年3月期	前年同期比
売上高	145,978	135,105	▲7.4%
うち 保守売上高	31,861 (21.8%)	31,682 (23.4%)	▲0.6%
営業利益	9,426 (6.5%)	7,685 (5.7%)	▲18.5%
経常利益	9,309 (6.4%)	9,011 (6.7%)	▲3.2%
当期純利益	5,782 (4.0%)	5,108 (3.8%)	▲11.7%

売上高の変動要因



営業利益の変動要因

単位:百万円



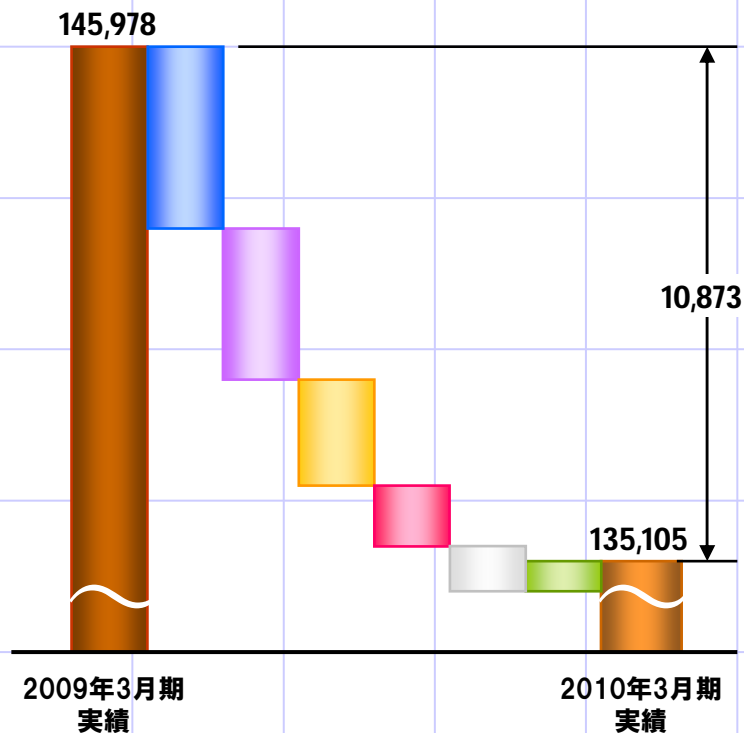
市場別・セグメント別売上高



(百万円)

市場	2009年3月期	2010年3月期	前年同期比
金融	45,829	42,759	▲3,070 (▲6.7%)
海外	32,784	28,712	▲4,072 (▲12.4%)
流通・交通	28,191	26,134	▲2,057 (▲7.3%)
自動販売機	7,486	6,381	▲1,105 (▲14.8%)
遊技	26,318	26,734	+416 (+1.6%)
その他	5,370	4,385	▲985 (▲18.3%)
合計	145,978	135,105	▲10,873 (▲7.4%)

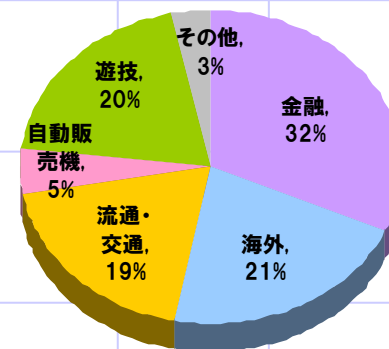
市場別売上高の変動



(百万円)

セグメント	2009年3月期	2010年3月期	前年同期比
貨幣処理機 及び貨幣端末機	85,927	82,133	▲3,794 (▲4.4%)
自動販売機 及び自動サービス機器	36,313	35,296	▲1,017 (▲2.8%)
その他の商品 及び製品	23,737	17,675	▲6,062 (▲25.5%)

市場別売上高の構成比



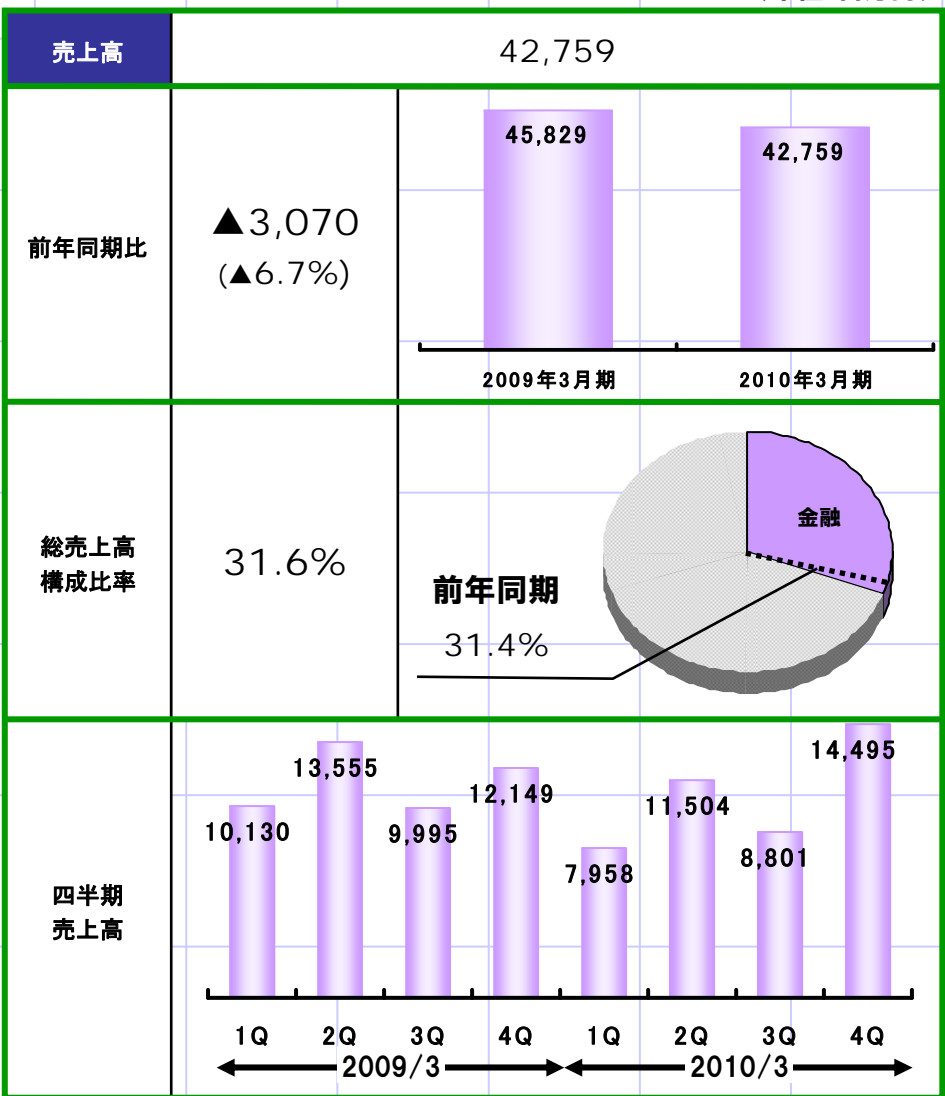
●OEM商品の販売が低調

主要製品であるオープン出納システムは堅調に推移したものの、OEM商品である窓口用入出金システムのユニットの販売が低調で、売上は前期に比べ減少。

主要製品の状況(前年同期比)

 オープン出納システム WAVEシリーズ	 窓口用入出金 システムのユニット
 オープン出納システム WAVE Cシリーズ	 自動精査現金バス BWシリーズ

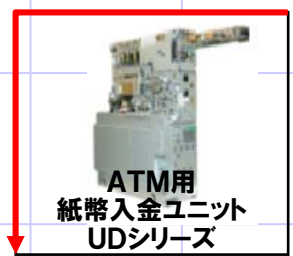
(単位:百万円)



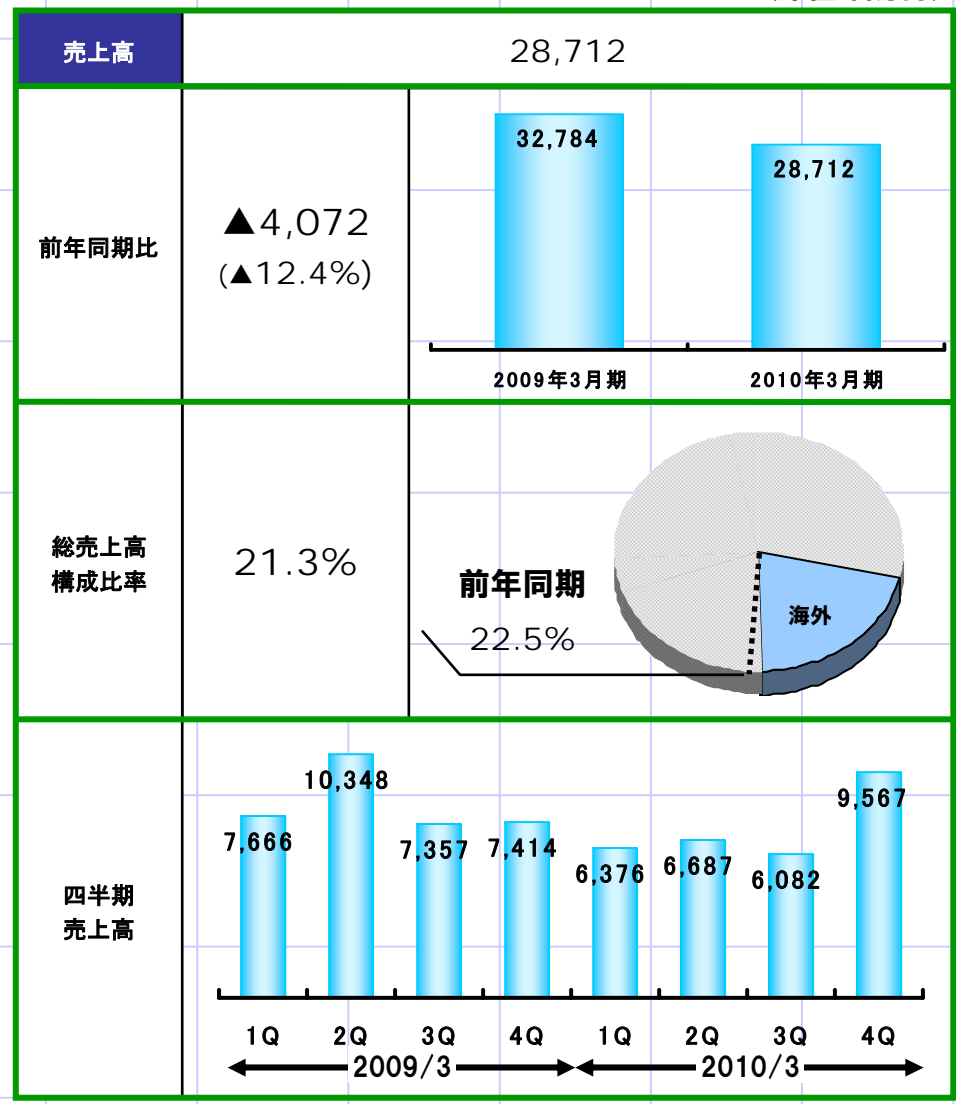
●主要製品の販売が低調

世界的な景気低迷に伴う設備投資抑制の影響によりOEM商品であるATM用紙幣入金ユニットや紙幣整理機等の販売が伸び悩み、売上は前期に比べ大きく減少。

主要製品の状況(前年同期比)



(単位:百万円)



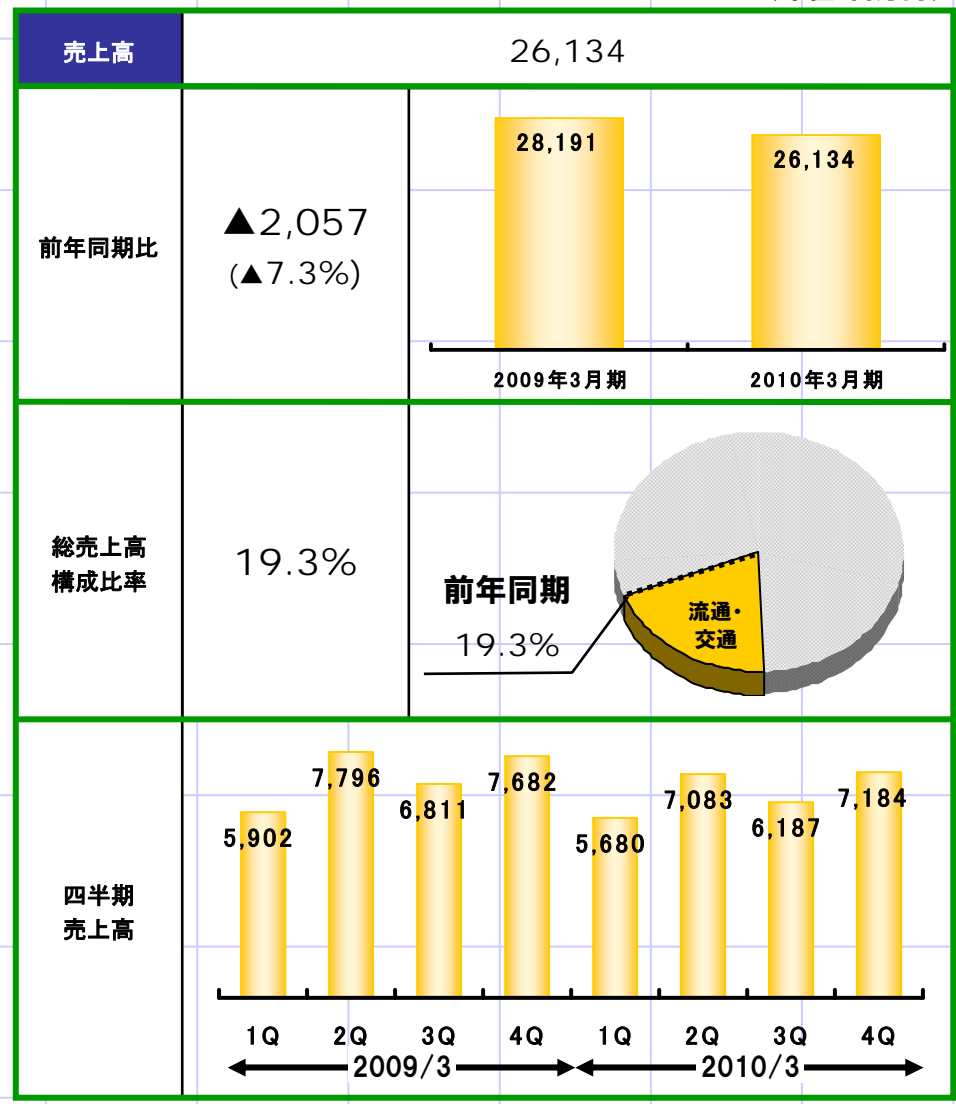
●主要製品の需要が減少

交通機関向けの小型入出金管理機の販売が好調であったものの、主要製品であるレジつり銭機の大口需要の低迷により、売上は前期に比べ減少。

主要製品の状況(前年同期比)

 レジつり銭機 RT/RADシリーズ	 小型入金機 DSSシリーズ
 小型入出金管理機 RHシリーズ	 小型入出金機 DSRシリーズ

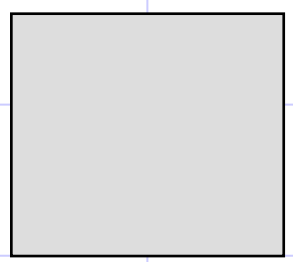
(単位:百万円)



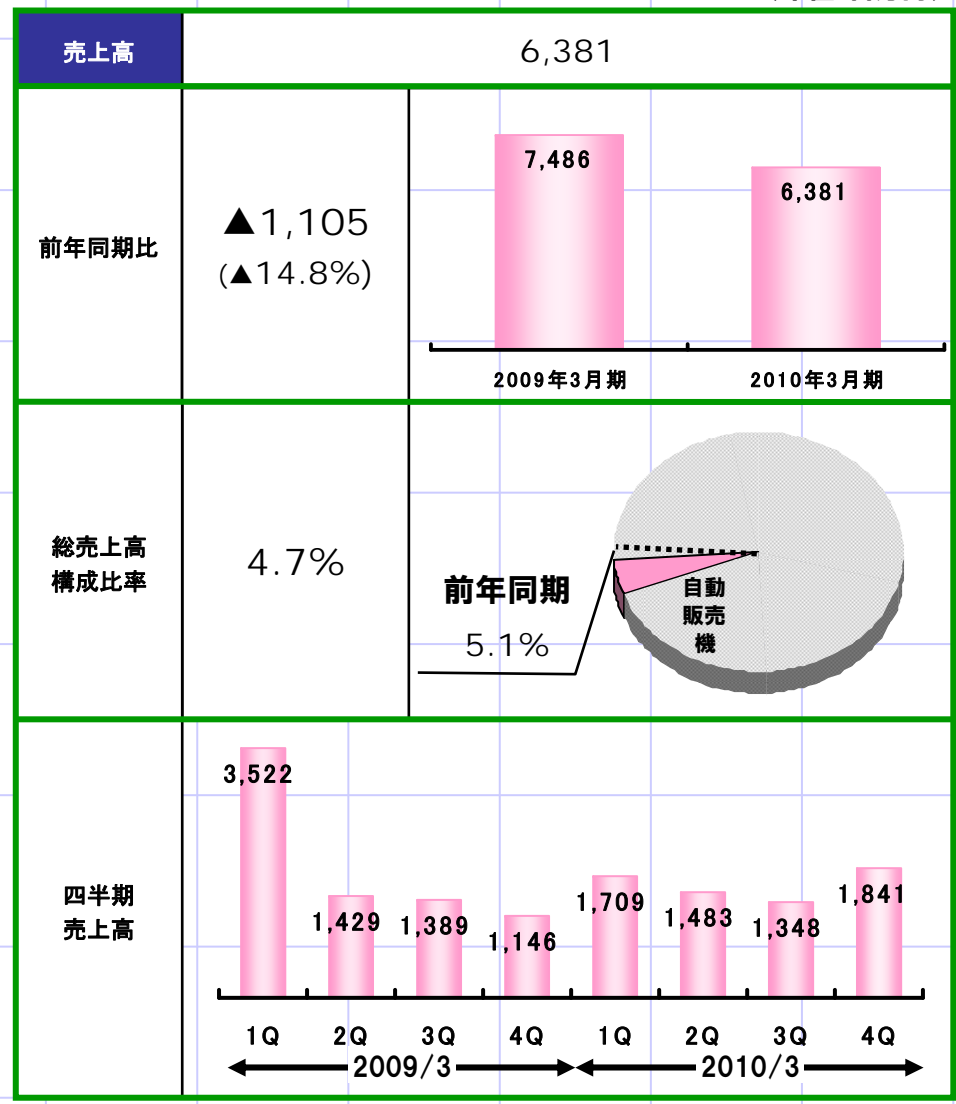
● たばこ販売機の需要が激減

たばこの販売が自動販売機から店頭での対面販売にシフトしたことにより、たばこ販売機の需要が減少し、売上は前期に比べ減少。

主要製品の状況(前年同期比)



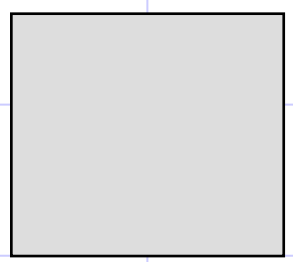
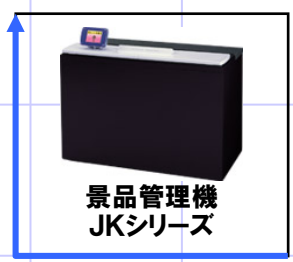
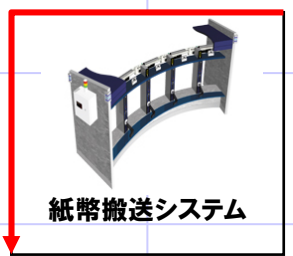
(単位:百万円)



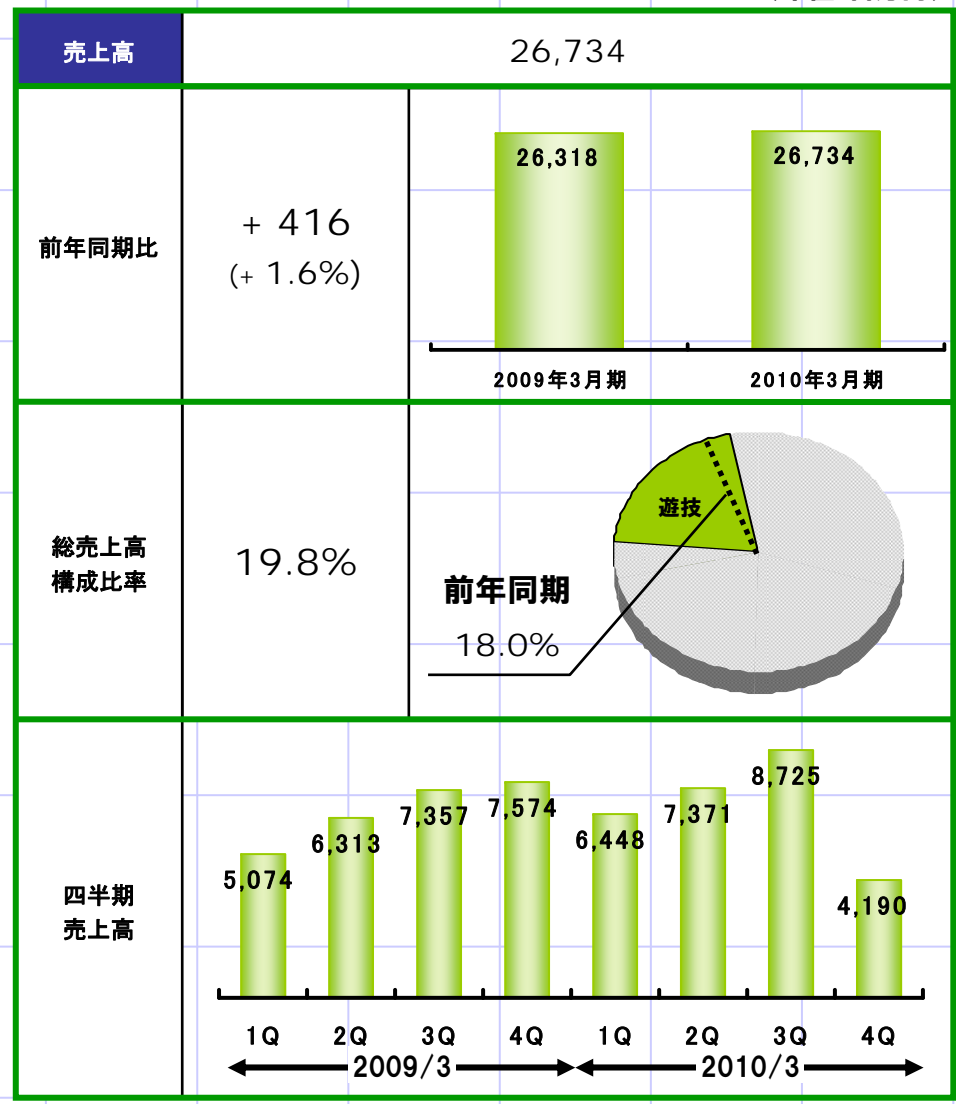
●カードシステムの販売が堅調

従来に比べプレイ代金を低く抑えた低貸玉営業の普及により市場の活性化傾向が見られ、各台計数機や携帯電話による貯玉システム等の新製品投入効果等によりカードシステムの販売が堅調に推移し、売上は前期に比べ増加。

主要製品の状況(前年同期比)



(単位:百万円)



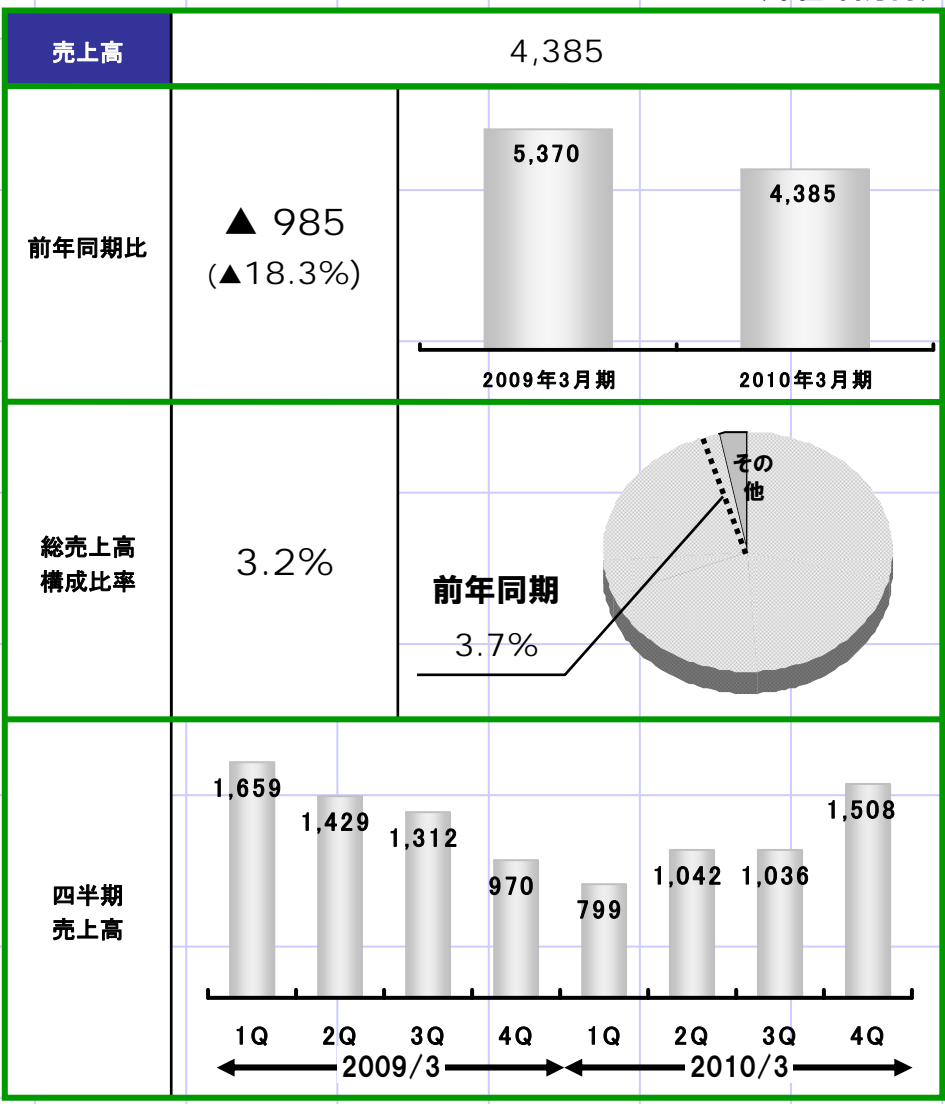
●各分野で設備投資抑制が継続

衆議院議員選挙の施行に伴い、選挙関連製品の販売が堅調に推移したが、一般企業での設備投資抑制により、社員食堂システム等の販売は低調に推移し、売上高は前期に比べ減少。

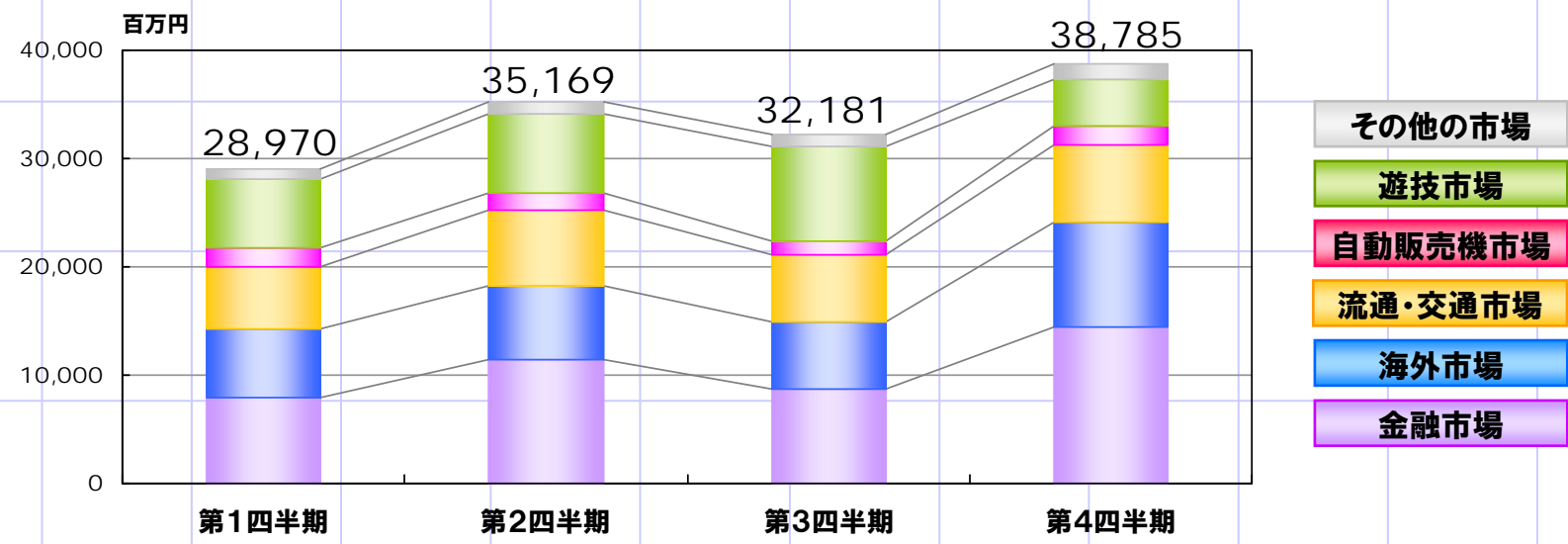
主要製品の状況(前年同期比)



(単位:百万円)



四半期毎の市場別売上高

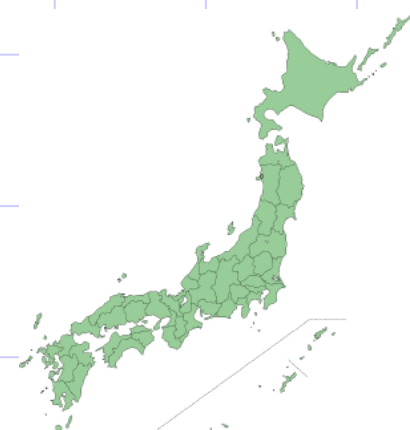


2010年3月期	第1四半期 実績	第2四半期 実績	第3四半期 実績	第4四半期 実績	通期		
					実績	計画	差異
金融	7,958	11,504	8,802	14,495	42,759	41,000	+ 1,759
海外	6,376	6,686	6,082	9,567	28,712	25,000	+ 3,712
金融機関 合計	14,334	18,190	14,884	24,062	71,471	66,000	+ 5,471
流通・交通	5,680	7,083	6,187	7,184	26,134	25,700	+ 434
自動販売機	1,709	1,483	1,348	1,841	6,381	6,000	+ 381
遊技	6,448	7,371	8,725	4,190	26,734	28,500	▲ 1,766
その他	799	1,042	1,036	1,508	4,385	3,800	+ 585
合計	28,970	35,169	32,181	38,785	135,105	130,000	+5,105

地域別売上高

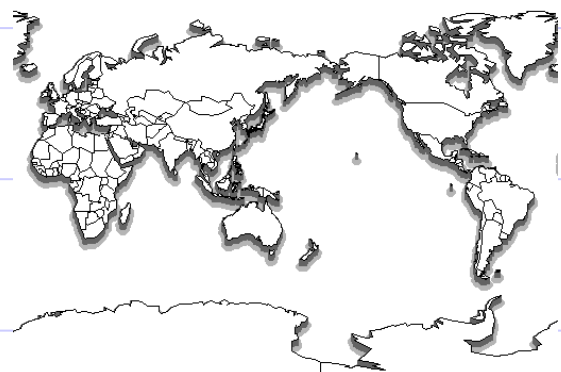
(単位:百万円)

国内外売上高	2009年3月期	2010年3月期	前年同期比
国内	113,194 77.5%	106,393 78.7%	▲6,801 ▲6.0%
海外	32,784 22.5%	28,712 21.3%	▲4,072 ▲12.4%
合計	145,978 100.0%	135,105 100.0%	▲10,873 ▲7.4%



(単位:百万円)

※下段は売上高構成比率



海外地域別売上高	2009年3月期	2010年3月期	前年同期比
アメリカ	7,069 22.4%	4,984 17.4%	▲2,085 ▲29.5%
ヨーロッパ	7,974 24.5%	8,151 28.4%	+177 +2.2%
中国・台湾・韓国他	1,658 7.1%	3,950 13.8%	+2,292 +138.2%
アジア・オセアニア	1,387 3.2%	1,494 5.2%	+107 +7.7%
OEM	14,696 42.8%	10,133 35.3%	▲4,563 ▲31.0%
合計	32,784 100.0%	28,712 100.0%	▲4,072 ▲12.4%

※下段は売上高構成比率

設備投資他

(単位:百万円)

	2009年3月期	2010年3月期	前年同期比	四半期毎の推移
設備投資額	10,637	6,713	▲3,924 ▲36.9%	<p>1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 2009/3 2010/3</p>
減価償却費	7,621	8,144	+523 +6.9%	<p>1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 2009/3 2010/3</p>
研究開発投資額	9,204	8,775	▲429 ▲4.7%	<p>1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 2009/3 2010/3</p>

損益計算書

(単位:百万円)

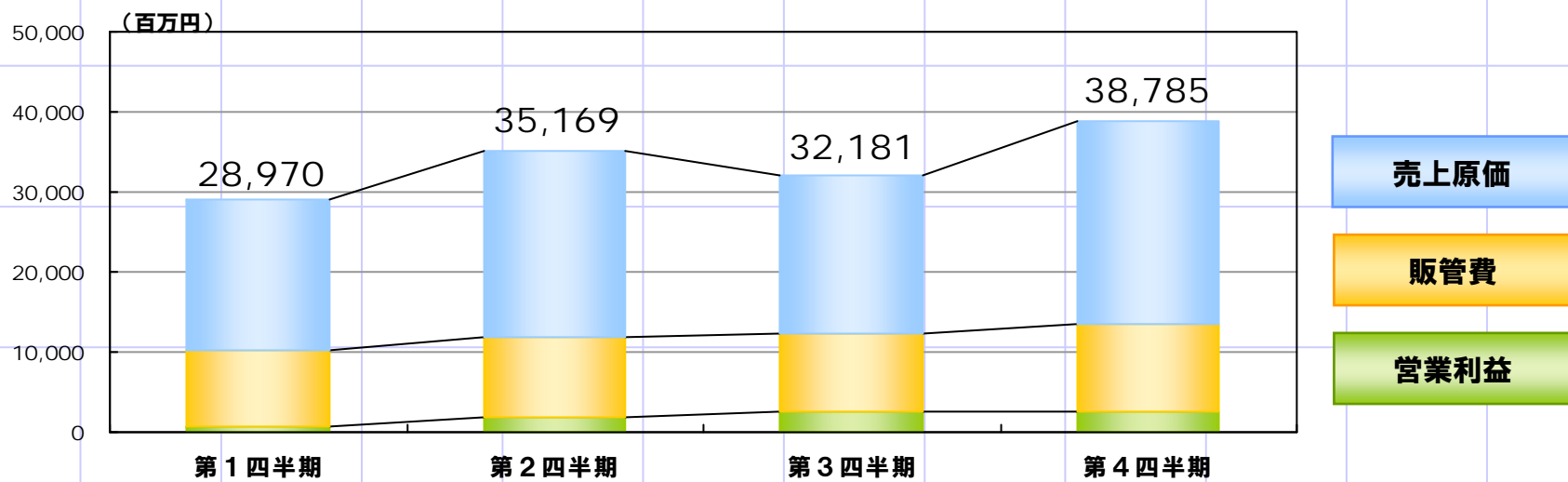
(百万円)	2009年3月期	百分比 (%)	2010年3月期	百分比 (%)	増減
売上高	145,978	100.0	135,105	100.0	▲10,873
売上原価	94,115	64.5	87,074	64.4	▲7,041 ①
販管費	42,436	29.0	40,345	29.9	▲2,091 ②
営業利益	9,426	6.5	7,685	5.7	▲1,741
営業外収益	1,416	1.0	1,661	1.2	+245
営業外費用	1,533	1.1	335	0.2	▲1,198 ③
経常利益	9,309	6.4	9,011	6.7	▲298
特別利益	582	0.4	425	0.3	▲157
特別損失	1,232	0.8	931	0.7	▲301
税金等調整前当期純利益	8,658	5.9	8,505	6.3	▲153
法人税等合計	2,836	1.9	3,397	2.5	+561
当期純利益	5,782	4.0	5,108	3.8	▲674

①売上原価：売上高減少にもかかわらずコストダウンにより比率は0.1%改善

②販管費：経費削減活動の成果により低下。ただし、売上高減少により比率は増加

③営業外損益：為替差損(▲833百万円)の減少、保険返戻金(635百万円)の計上などにより改善

四半期毎の営業利益



2010年3月期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
売上高	28,970	35,169	32,181	33,680 ➡ 38,785	135,105
売上原価 (売上高比率)	18,645 (64.4%)	23,262 (66.1%)	19,849 (61.7%)	22,649 ➡ 25,323 (67.2%) (65.3%)	87,074 (64.4%)
販管費 (売上高比率)	9,571 (33.0%)	10,024 (28.5%)	9,789 (30.4%)	10,217 ➡ 10,962 (30.3%) (28.3%)	40,345 (29.9%)
営業利益 (売上高比率)	761 (2.6%)	1,882 (5.4%)	2,542 (7.9%)	815 ➡ 2,500 (2.4%) (6.4%)	7,685 (5.7%)

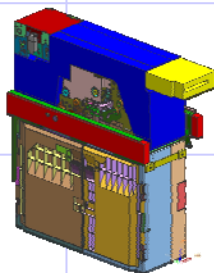
※左枠は2月10日時点の予想値

	戦略テーマ	2009年度 実績	今後の取り組み
成長ビジネス (海外)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主要製品分野の事業拡大 2. 新市場(リテール)の開拓 	<ol style="list-style-type: none"> 1-1) ATM用ユニットのラインナップ強化 1-2) 紙幣入金機GFS発売 1-3) 新規代理店開拓 ・米国3社 ・中国14社他 2. OEMでの実績拡大 	<ol style="list-style-type: none"> 1-1) 新製品の展開 1-2) 地域・国別販売戦略の実行 1-3) 新製品の開発 2. 販売網の構築
基盤ビジネス (国内)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市場の拡大 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新製品による市場の深堀り (金融) C WAVE (交通) 小型入出金機DSR (遊技) 各台計数システム 	<ul style="list-style-type: none"> ・未導入先への営業推進
将来ビジネス (新事業)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現業につなぐ周辺要素技術の深堀り強化 2. 非現金分野の強化 3. 独自技術と外部技術の融合 	<p>顔画像性別年齢推定 ソフトウェアの開発</p>	<p>新組織での取り組み推進</p>

成長ビジネス 戦略テーマ

- 1. 主要製品分野の事業拡大
- 2. 新市場(リテール)の開拓

1-1)ATM用ユニットのラインナップ強化



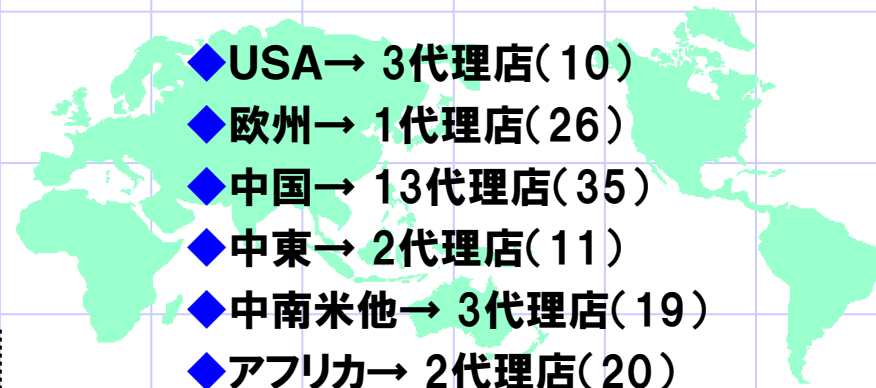
◆紙幣・小切手入金ユニット
の開発

1-2)紙幣入金機GFS発売



◆2009年度 販売実績
約4,500台

1-3)新規代理店開拓



※()内は2010年3月末時点の代理店総数

2-1)OEMでの実績拡大

◆欧州での事業が本格化

- ・紙幣入出金機 RBWシリーズ
2009年度 販売実績 1,500台
※大手スーパーのセルフレジのユニットとして導入
- ・窓口用紙幣入出金機 RZシリーズ
2009年度 販売実績 1,200台
※ガソリンスタンドに併設されたCVSに設置



基盤ビジネス 戦略テーマ

1. 市場の拡大

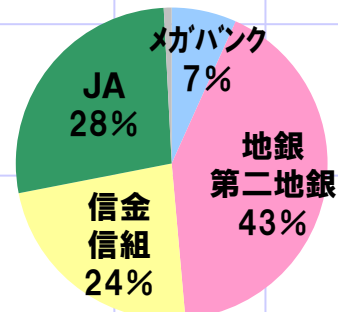
1. 新製品による市場の深堀り

金融市場

◆コンパクトオープン出納システム WAVE C30シリーズ



- 2009年12月発売
- 金融機関の
中小型店舗向け



2009年度 業態別導入比率

交通市場

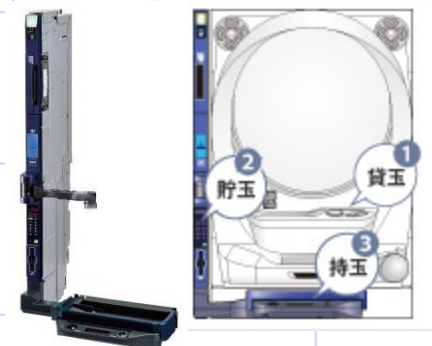
◆小型入出金機 DSR 100シリーズ



- 2009年11月発売
- 駅の出納室向け

遊技市場

◆NASCA G8 PAPIMO 各台計数機システム ・クリエイションカード NEOLレス球



- 2009年7月発売
- 複数レート営業を
行うホール向け

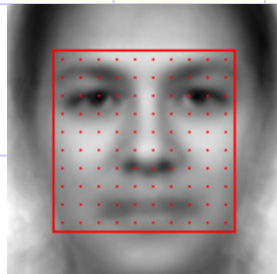
将来ビジネス 戦略テーマ

- 1. 現業につなぐ周辺要素
技術の深堀り強化
- 2. 非現金分野の強化
- 3. 独自技術と外部技術の融合

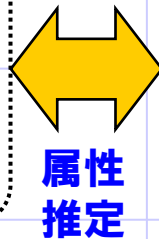
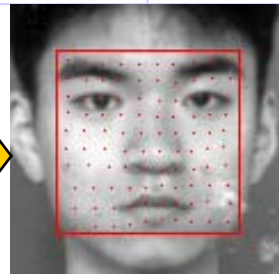
1. 顔画像性別年齢推定ソフトウェアを開発

顔画像に含まれる「眉が太い」、「鼻が大きい」
などの**個人性を排除し**、性別、年齢の特徴
を確実に捉えて判定。

基準となる平均顔



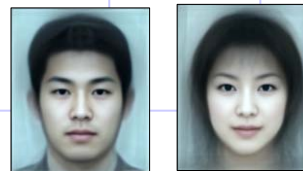
推定対象



性別・年齢別の特徴量



子供



青年



壮年



老年

顔データベース



生産革新 目標

グローバル生産体制構築

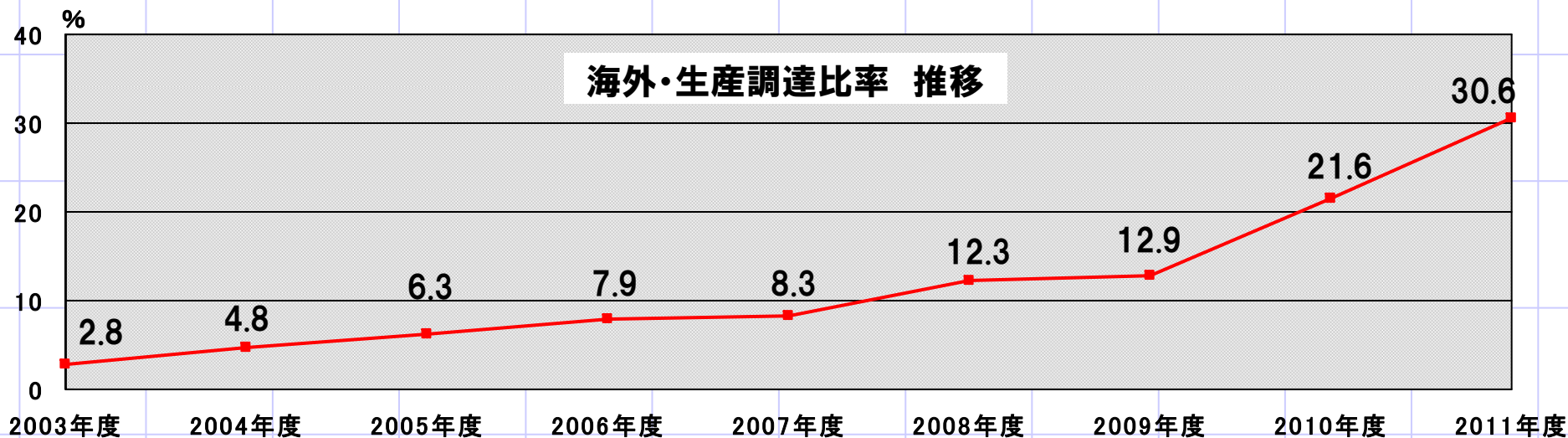
- ・生産性30%UP
- ・海外生産・調達比率30%

2009年度 実績

- ・生産性:10%向上
- ・海外生産・調達比率:13%

今後の取り組み

- ・生産性20%UP
- ・海外生産・調達比率
20%UP
- ・インフラ整備(国内, 海外)



国内コア事業
の強化

ナスカとクリエイションカードの合併 2011年4月

不採算事業の
整理

・マルエスGT事業譲渡 2009年9月

・グローリーFSMの事業移管と清算 2010年5月

生産の
効率化

・グローリーエンジニアリングを
修理専門会社へ業態変更 2009年10月
生産は埼玉工場に移管

・製造子会社3社合併 2010年4月
グローリープロダクツ(株)誕生



・フィリピン、中国工場の増強 計画中

● 海外事業拡大に向けた事業基盤の充実

■ 新製品投入による競争力強化

- ① 紙幣入金機・整理機のラインナップ強化
- ② システム機のラインナップ強化
- ③ ATM用ユニットのラインナップ強化



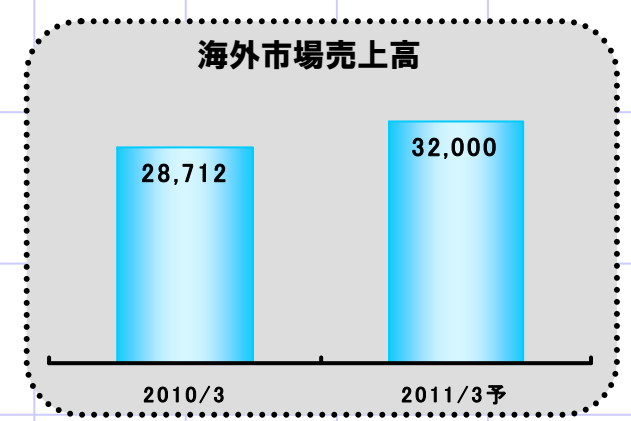
紙幣入金機GFSシリーズ

■ 新市場の開拓

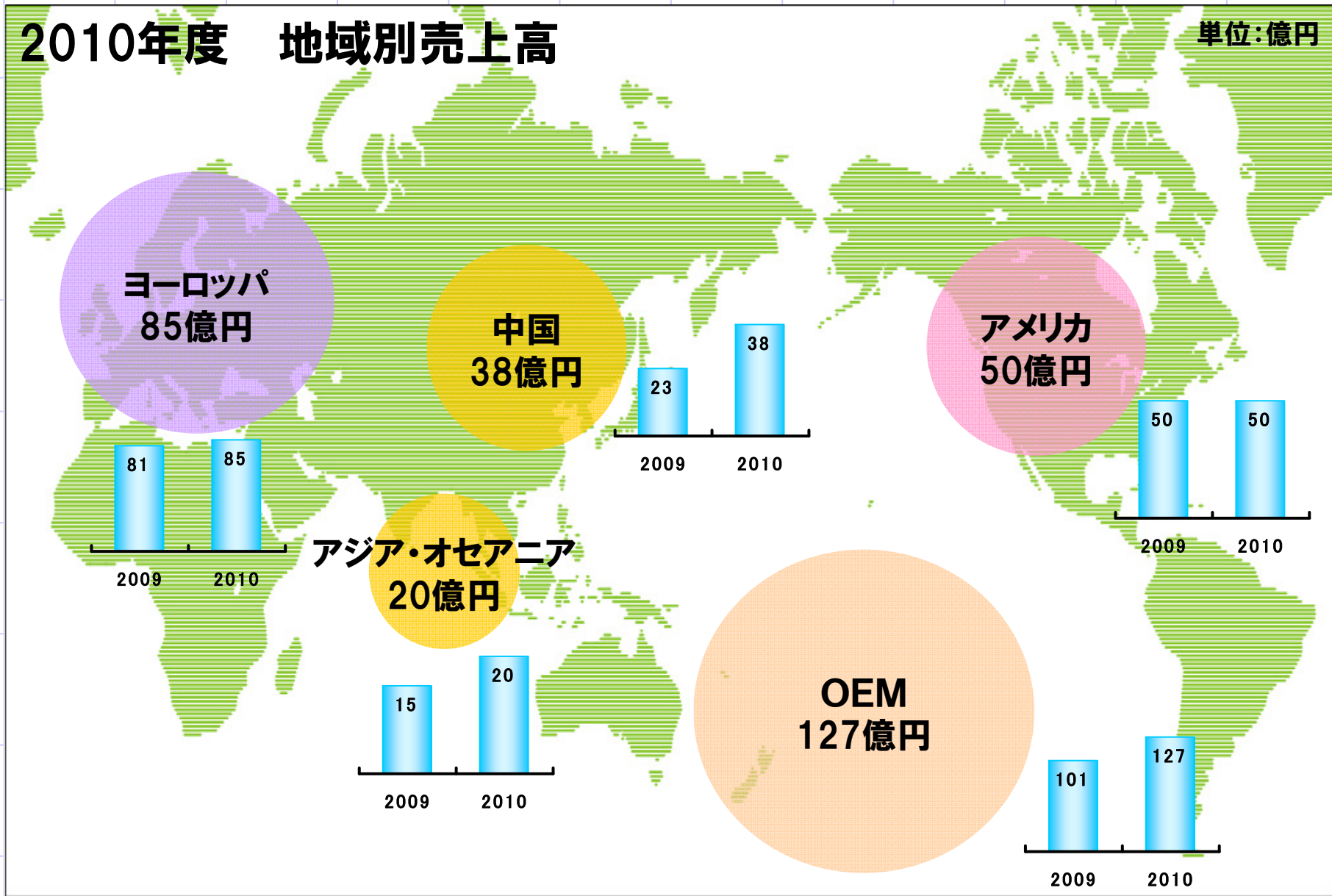
- ① リテール市場 {
 - ・大手スーパーマーケット
 - ・コンビニエンスストア他
- ② 中国市場 {
 - ・5大銀行+地方銀行

■ コストダウンの推進

- ① 現地生産能力の拡充



海外事業（地域別売上高）



● 国内基盤事業の拡大

■ [市場の深掘り] 商品別、地域別販売戦略の展開

- ① オープン出納システムの販売拡大
- ② レジつり銭機の未開拓業種への導入推進
- ③ 遊技市場での競争力強化

■ 新製品による売上拡大

金融市場



オープン出納システム
WAVE C30シリーズ



自動精査現金バス
BW-700シリーズ



重要物管理機
BK-100シリーズ

交通市場



小型入出金機
DSR100シリーズ

重点方針

オープン出納システムの販売拡大

施策

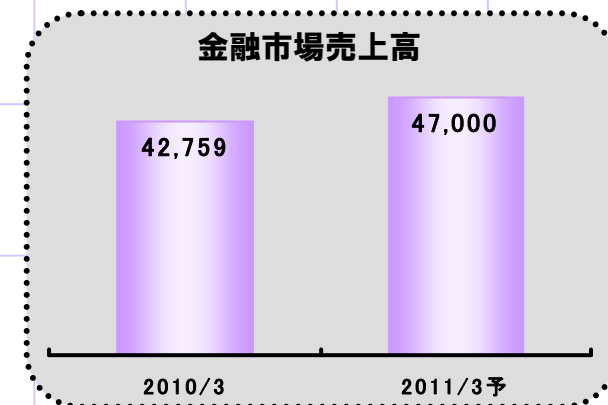
1. 更新促進
導入10年超ユーザーへの更新促進
2. 市場拡大
未導入市場に注力し、シェアを拡大



WAVE 730シリーズ



WAVE C30シリーズ



重点方針

1. レジつり銭機の未開拓業種への導入推進
2. 新製品投入と市場の深掘りによる売上拡大

施策

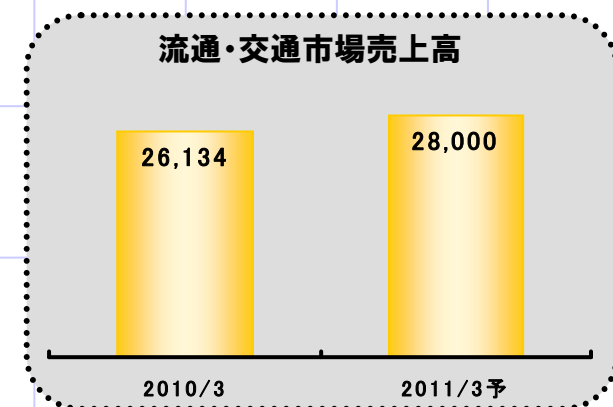
1. 専任化による実績作り(CVS、飲食、専門店)
2. 交通機関への提案強化



レジつり銭機
RT/RAD200シリーズ



小型入出金機
DSR100シリーズ

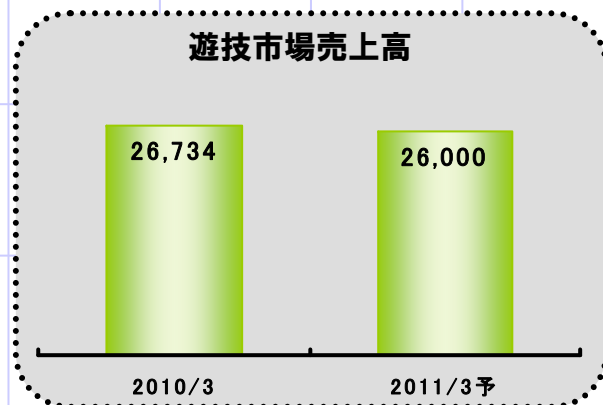
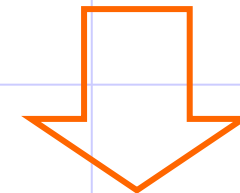


重点方針

市場競争力の強化

施策

1. 関連会社2社（グローリーナスカ+クリエイションカード）の合併推進
2. 新トータルシステムの開発促進



合併新会社の2013年度 目標	
①グローリー製品の拡販 ②役務を中心とした付加価値ビジネスの拡大	
売上高 300億円以上	営業利益 20億円以上

売上高 景気回復による設備投資の増加により、前年同期に比べ増加。

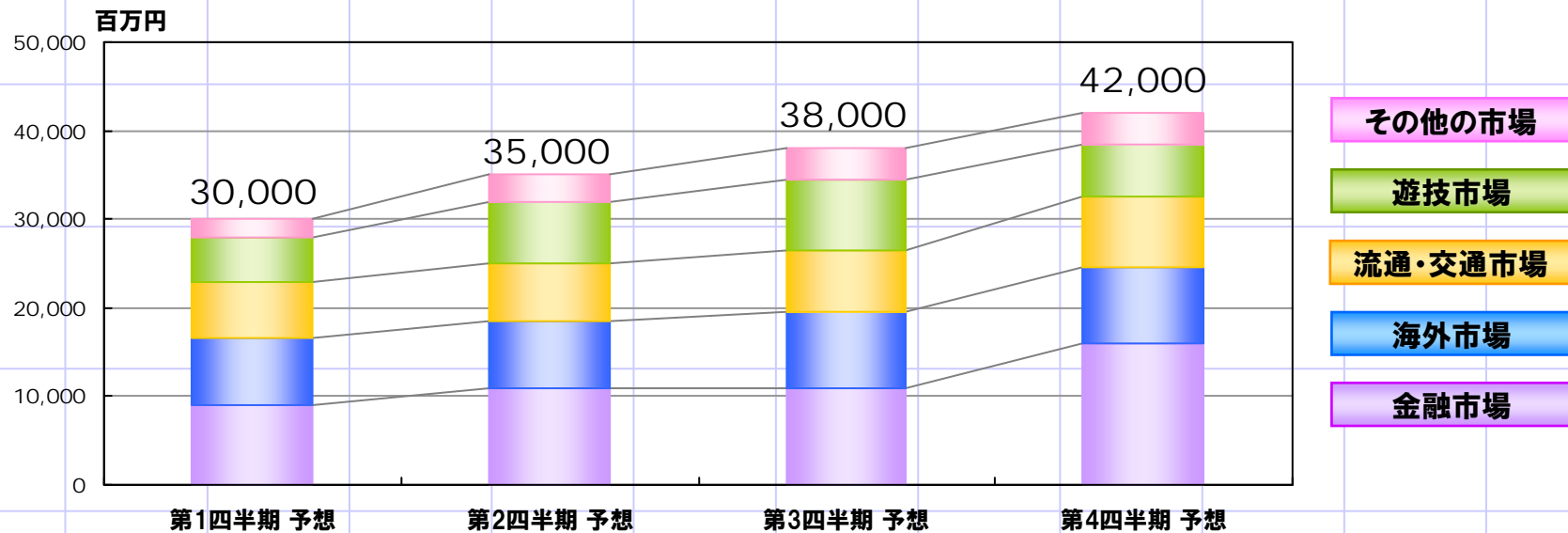
利益 売上高の増加と、海外生産・海外調達の拡大等コストダウン策の推進により増加

(百万円)	2010年3月期 (平成22年3月期)	2011年3月期 (平成23年3月期)	前年同期比
売上高	135,105	145,000	+7.3%
うち 保守売上高	31,682 (23.4%)	32,000 (22.1%)	+1.0%
営業利益	7,685 (5.7%)	10,000 (6.9%)	+30.1%
経常利益	9,011 (6.7%)	10,000 (6.9%)	+11.0%
当期純利益	5,108 (3.8%)	6,000 (4.1%)	+17.5%

市場別売上高

(百万円)	2010年3月期 (平成22年3月期)		2011年3月期 予想 (平成23年3月期 予想)		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前年同期比
金融	42,759	31.6%	47,000	32.4%	+9.9%
海外	28,712	21.3%	32,000	22.1%	+11.5%
流通・交通	26,134	19.3%	28,000	19.3%	+7.1%
遊技	26,734	19.8%	26,000	17.9%	▲2.7%
その他	10,766	8.0%	12,000	8.3%	+11.5%
自動販売機	6,381	4.7%	6,500	4.5%	+1.9%
合計	135,105	100.0%	145,000	100.0%	+7.3%

四半期毎の市場別売上高



2011年3月期	第1四半期 予想	第2四半期 予想	第3四半期 予想	第4四半期 予想	年間予想
金融	9,000	11,000	11,000	16,000	47,000
海外	7,500	7,500	8,500	8,500	32,000
流通・交通	6,500	6,500	7,000	8,000	28,000
遊技	5,000	7,000	8,000	6,000	26,000
その他	2,000	3,000	3,500	3,500	12,000
自動販売機	1,000	1,500	2,000	2,000	6,500
合計	30,000	35,000	38,000	42,000	145,000

● 2011年3月期の配当について

利益配分に関する基本方針

将来の事業展開に備えた財務体質の維持・強化を図りつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針としております。具体的には

「連結自己資本配当率1.5%を下限とし、連結配当性向25%以上を目標とした利益配分を行う」
こととしております。

1株当たりの配当金	中間期末 予想	期末 予想	年間 予想
2011年3月期 (2010年5月11日公表)	17円00銭	17円00銭	34円00銭 (配当性向38.1%)

※自己株式の取得につきましても、資本効率の向上と経営環境に応じた機動的な資本政策を遂行するために、適宜実施してまいりたいと考えております。

(ご参考)

1株当たりの配当金	中間期末 実績	期末 予想	年間 予想
2010年3月期	16円00銭	17円00銭	33円00銭 (配当性向43.4%)

● 自己株式の消却について

自己株式の保有・消却方針

取得した自己株式は、**発行済株式総数の5%を目処に継続保有し、超過分については適宜消却**いたします。

自己株式消却

消却した株式の種類	当社普通株式	—
消却した株式の数	1,200,000株	—
消却日	2010年5月20日	消却前の発行済株式総数に対する割合 1.72%
消却後の発行済株式総数	68,638,210株	—
消却後の自己株式数	2,949,371株	消却後の発行済株式総数に対する割合 4.30%